

今年度の協議会の検討内容

協議会で検討を進めてきた小口巡回共同回収システムを実施するためには、AB分科会の検討成果の実効性を検証する必要がある。

進め方の方向性	具体的な内容
①社会実験を実施し、小口巡回共同回収システムなどの実効性を検証する (社会実験による検証)	実際に小口巡回共同回収システムを運用して次の効果を検証 1) 現行法制度のなかでの小口巡回共同回収の実効性 2) 廃棄物のトレーサビリティを担保する情報処理機能の実効性 3) 廃棄物の処理委託について、電子的な契約の実効性
②既存の小口巡回回収の実例データなどにより、小口巡回回収システムなどの効果を検証する (既存データによる検証)	既存のデータによる次の効果を検証 1) 現行法制度のなかでの小口巡回回収の実効性

- 小口巡回共同回収の実施事例がない
- 社会実験を実施することが困難

小口巡回回収の実例データによる効果の検証を行う

小口巡回共同回収について、シミュレーションを実施し、効果を検証するとともに、課題を整理した